5．事　例

(1) 登　校　拒　否

1．はじめに

登校拒否にはいろいろの定義づけがあるが，狭い意味で，しかもわかりやすいものとして，「心理的な理由によって学校を欠席する児童生徒のうち，登校刺激に対して，特異的にすくみ反応を呈するもの」―愛知県総合保健センター　梅垣　弘――があり，この定義がわかりやすいであろう。

登校拒否は一種の徴候群であり，その原因は複雑にからみあっている。すなわち，家庭や学校の人間関係のもつれによるかも知れないし，子供の神経症的な性格や，あるいはもっと重大な精神病の初期の状態であるかも知れない。しかし，これまでの種々の研究から，徴候群としてあげられているのは，①　登校時の頭痛，腹痛，発熱，②　神経質，③　過敏性，④　自己中心性，⑤　社会的未成熟，⑥　心気症，⑦　完全癖，⑧　母親への固着，⑨　内気，⑩　わがまま，⑪　劣等感，⑫　依存性，⑬　退行などである。

そこで，登校拒否児にみられる性格特性や，その性格特性を形成してきた親（特に母親）の養育態度に焦点をあて，述べることにする。

2．登校拒否児にみられる性格特性

昭和55年４月から10月までの間，登校拒否の主訴で来談した中学生・高校生24名に対して，矢田部・ギルホード性格検査（Ｙ－Ｇ性格検査）を実施した結果から，登校拒否児の性格特性について考察してみたい。

(1)　対象別人数

表１　対象別人数一覧表

対象別＼性別	男	女	計
中学生	8	3	11
高校生	9	4	13
計	17	7	24

(2)　性格類型

表２　性格類型一覧表

類型		中学生		高校生	
A類型	A	0	1	0	0
	A′	0	(9.1%)	0	(0%)
	A″	1		0	
B類型	B	0	0	0	0
	B′	0	(0%)	0	(0%)
	AB	0		0	
C類型	C	2	3	3	3
	C′	1	(27.3%	0	(23.1%)
	AC	0		0	
D類型	D	0	1	1	2
	D′	1	(9.1%)	0	(15.4%)
	AD	0		1	
E類型	E	3	6	5	8
	E′	3	(54.5%)	3	(61.5%)
	AE	0		0	
F型	F	0	0 (0%)	0	0 (0%)

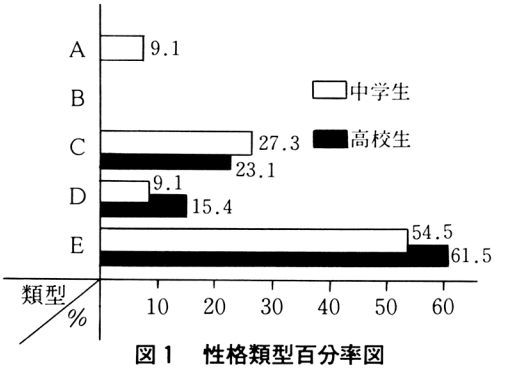

図１　性格類型百分率図

①　中学生，高校生ともに，Ｅ類型が多いことは，情緒不安定，社会的不適応，消極的内向型の神経症的傾向による者が多いことを示している。

②　２番目に中学生，高校生ともに，Ｃ類型が出現しており，一応情緒的には安定しているが，消極的内向型の目だたない存在であることがうかがえる。

(3)　性格特性

Ｙ－Ｇ性格検査では，６つの因子と，12の性格特性をみることができる。これらの性格特性を中学生，高校生別に，プロフィールをえがいて考察してみよう。ただし，男女でプロフィールをえがくためのパーセンタイルの位置が異なり，しかも女子の人数が少ないので，女子は省略することとした。

○情緒不安定因子
- 抑うつ性（Ｄ）
- 回帰性（Ｃ）
- 劣等感（Ｉ）
- 神経質（Ｎ）